



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月9日

上場会社名 中央自動車工業株式会社
コード番号 8117 URL <https://www.central-auto.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂田 信一郎

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務本部長 (氏名) 住吉 哲也

TEL 06-6443-5192

四半期報告書提出予定日 2024年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	29,495	13.8	7,713	35.1	8,614	39.8	5,959	41.4
2023年3月期第3四半期	25,910	16.8	5,708	23.9	6,163	22.2	4,213	22.8

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 6,773百万円 (58.4%) 2023年3月期第3四半期 4,275百万円 (27.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	324.07	
2023年3月期第3四半期	229.49	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	53,355	46,785	87.7	2,542.91
2023年3月期	49,350	41,932	85.0	2,281.23

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 46,785百万円 2023年3月期 41,932百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		39.00		53.00	92.00
2024年3月期		54.00			
2024年3月期(予想)				54.00	108.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,000	5.9	10,000	19.7	11,000	22.7	7,500	19.2	407.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	20,020,000 株	2023年3月期	20,020,000 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	1,621,398 株	2023年3月期	1,638,305 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	18,390,142 株	2023年3月期3Q	18,362,182 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(企業結合等関係)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済活動正常化の動きが続いており、内需の押し上げにより景気は緩やかに回復しつつあるものの、エネルギー価格や物価の上昇、ロシア・ウクライナ情勢などの地政学リスクもあり、依然として先行き不透明な状況が継続しております。

4～12月の国内新車総販売台数(軽を含む)は、新型コロナウイルスの感染拡大からの回復や部品の供給不足の緩和による生産調整の縮小もあり、前年同期比13.1%増の約340万台となりました。内訳は、登録車が同18.8%増の約216万台、軽自動車と同4.4%増の約124万台となりました。

このような環境下、当社グループは、2030年に向けたパーパス「未来のモビリティ社会における最良のパートナー」を具現化するべく、地域密着型営業を通じて、高付加価値商材のさらなる拡販と異業種を含む新規ビジネスの拡大へ注力するとともに、ブランディング戦略を一層強化いたしました。

また、2023年11月に自動車向けのカスタムパーツの企画製造販売を行う有限会社フラッグスを買収し、当社の完全子会社とするとともに、株式会社へ移行いたしました。今後同社の企画力やSNSでの発信力等を通じて、新規ビジネスの創出や既存顧客との取引深耕を図り、企業価値の向上に努めてまいります。

これにより、当社グループの売上高は294億95百万円(前年同期比114%)、営業利益は77億13百万円(同135%)、経常利益は86億14百万円(同140%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は59億59百万円(同141%)となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。なお、当第3四半期連結会計期間より株式会社フラッグスが連結子会社となりましたが、当第3四半期連結累計期間においては、貸借対照表のみを連結しており、四半期連結損益計算書には含めておりません。

(自動車部品・用品等販売事業)

当セグメントにおきましては、国内部門では、新車の供給体制が大幅に改善される市場環境が続くなか、高付加価値商材の拡販と新規開拓の強化を継続し、更なるシェア拡大を図るとともに、法改正前の買い替え需要を含むアルコール検知器の市場獲得に努めました。

海外部門では、ロシア・ウクライナ情勢に加え、中東などで高まる地政学リスクに注意しながら、より付加価値の高いオリジナル商材の展開と新規ビジネスの開拓に注力いたしました。

これにより、売上高は235億47百万円(前年同期比113%)、セグメント利益につきましては71億56百万円(同135%)となりました。なお、上記実績のうち、アルコール検知器に関しては、売上高12億48百万円(同47%)となりました。

(自動車処分事業)

当セグメントにおきましては、連結子会社の株式会社A B Tは、上半期に発生した水災や社会活動の回復等により取扱件数が増加したなか、引き続き適正かつ安定した業務運営に努めました。

これにより、売上高は59億48百万円(前年同期比119%)、セグメント利益につきましては5億57百万円(同136%)となりました。

セグメントの業績(連結売上高)

(単位:百万円)

	前 期	当 期	対前期比(%)
自動車部品・用品等販売事業	20,914	23,547	12.6
内、国内販売	14,105	16,803	19.1
内、海外販売	6,808	6,743	△1.0
自動車処分事業	4,996	5,948	19.1
合 計	25,910	29,495	13.8

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態を分析しますと、

- ① 総資産合計は533億55百万円と前連結会計年度末に比べて40億5百万円増加しております。
増加の主なものは、現金及び預金が12億87百万円、有形固定資産その他のうち東京支社新社屋建設に伴う建設仮勘定が9億42百万円、投資有価証券が21億68百万円であります。
減少の主なものは、受取手形及び売掛金が3億61百万円、有価証券が5億円であります。
- ② 負債合計は65億69百万円と前連結会計年度末に比べて8億47百万円減少しております。
増加の主なものは、支払手形及び買掛金が2億12百万円であります。
減少の主なものは、未払法人税等が9億24百万円及び賞与引当金が1億87百万円であります。
- ③ 純資産合計は467億85百万円と前連結会計年度末に比べて48億53百万円増加しております。
増加の主なものは、親会社株主に帰属する四半期純利益が59億59百万円、その他有価証券評価差額金が8億1百万円であります。
減少の主なものは、配当金の支払いにより利益剰余金が19億78百万円あります。
なお、自己資本比率は、85.0%から87.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想(2023年11月10日公表)につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績が概ね計画通りに推移しておりますので、現時点における業績予想値の変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,450	17,738
受取手形及び売掛金	4,267	3,906
有価証券	500	—
商品及び製品	1,928	2,498
仕掛品	5	10
原材料及び貯蔵品	15	19
その他	540	585
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	23,702	24,751
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,155	1,141
土地	5,157	5,230
その他（純額）	142	1,164
有形固定資産合計	6,456	7,535
無形固定資産		
のれん	3,719	3,802
その他	93	97
無形固定資産合計	3,812	3,900
投資その他の資産		
投資有価証券	13,269	15,437
長期貸付金	659	659
繰延税金資産	654	264
その他	796	807
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	15,378	17,168
固定資産合計	25,648	28,603
資産合計	49,350	53,355
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,323	2,535
未払法人税等	1,955	1,031
賞与引当金	464	277
その他	1,282	1,190
流動負債合計	6,026	5,035
固定負債		
退職給付に係る負債	1,280	1,264
その他	110	270
固定負債合計	1,391	1,534
負債合計	7,417	6,569

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,001	1,001
資本剰余金	4,877	4,929
利益剰余金	35,805	39,786
自己株式	△591	△585
株主資本合計	41,092	45,131
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	912	1,714
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	26	18
退職給付に係る調整累計額	△98	△79
その他の包括利益累計額合計	840	1,654
純資産合計	41,932	46,785
負債純資産合計	49,350	53,355

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	25,910	29,495
売上原価	15,570	16,801
売上総利益	10,340	12,693
販売費及び一般管理費	4,631	4,979
営業利益	5,708	7,713
営業外収益		
受取利息	8	9
受取配当金	116	126
受取賃貸料	38	35
持分法による投資利益	283	681
その他	37	73
営業外収益合計	484	925
営業外費用		
売上債権売却損	6	—
支払手数料	5	6
賃貸収入原価	14	14
その他	2	3
営業外費用合計	29	24
経常利益	6,163	8,614
税金等調整前四半期純利益	6,163	8,614
法人税、住民税及び事業税	1,790	2,455
法人税等調整額	157	199
法人税等合計	1,948	2,654
四半期純利益	4,214	5,959
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,213	5,959

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	4,214	5,959
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	116	661
繰延ヘッジ損益	2	0
為替換算調整勘定	2	△7
退職給付に係る調整額	21	19
持分法適用会社に対する持分相当額	△82	139
その他の包括利益合計	60	813
四半期包括利益	4,275	6,773
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,274	6,773
非支配株主に係る四半期包括利益	0	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	合計
	自動車部品・ 用品等販売事業	自動車処分事業	計		
売上高					
国内	14,105	4,996	19,101	—	19,101
海外	6,808	—	6,808	—	6,808
顧客との契約から生じる 収益	20,914	4,996	25,910	—	25,910
外部顧客への売上高	20,914	4,996	25,910	—	25,910
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	20,914	4,996	25,910	—	25,910
セグメント利益	5,300	408	5,708	—	5,708

- (注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。
 2. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去額が含まれております。
 3. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国内と海外に分類しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	合計
	自動車部品・ 用品等販売事業	自動車処分事業	計		
売上高					
国内	16,803	5,948	22,751	—	22,751
海外	6,743	—	6,743	—	6,743
顧客との契約から生じる 収益	23,547	5,948	29,495	—	29,495
外部顧客への売上高	23,547	5,948	29,495	—	29,495
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	23,547	5,948	29,495	—	29,495
セグメント利益	7,156	557	7,713	0	7,713

- (注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。
 2. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去額が含まれております。
 3. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国内と海外に分類しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

2023年11月9日に有限会社フラッグスの株式を取得し子会社化いたしました。これにより「自動車部品・用品等販売事業」セグメントにおいて、のれんが増加しております。

当該事象によるのれんの発生額は、368百万円であります。

(企業結合等関係)

取得による企業結合

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 有限会社フラッグス

事業の内容 自動車向けのカスタムパーツの企画製造販売

② 企業結合を行った主な理由

有限会社フラッグスは、1996年の設立以来、国内外のネットワークを通じて自動車向けのカスタムパーツの企画製造販売を営む企業です。当社グループとの今後の事業シナジーも大いに期待できると考慮し、同社発行済み株式の100%を取得することといたしました。

③ 企業結合日

株式取得日 2023年11月9日

④ 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

⑤ 結合後企業の名称

株式会社フラッグス (2023年12月27日に商号変更)

⑥ 取得した議決権比率

取得後の議決権比率 100%

⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として、株式を取得したためであります。

(2) 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

みなし取得日を2023年12月31日としており、貸借対照表のみを連結しているため、被取得企業の業績は当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれておりません。

(3) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	590百万円
取得原価		590百万円

(4) 発生したのれん、発生原因、償却方法及び償却期間

① 発生したのれん、金額

368百万円

② 発生原因

主として今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力によるものであります。

③ 償却方法及び償却期間

6年間にわたる均等償却